



令和4年9月29日
海上保安庁

JICA 課題別研修(海図作製技術コース)の本邦研修を3年ぶり再開

～ 国際資格を取得できる唯一の JICA 研修 ～

海上保安庁では、独立行政法人国際協力機構(JICA)と協力し、開発途上国で水路測量に従事する技術者を対象とした海図作製能力向上のための研修を実施します。新型コロナウイルス感染症水際対策の緩和に伴い、これまで実施を見合わせていた本邦への招聘を3年ぶりに再開します。

1 研修概要

本研修は、昭和46年から毎年実施しており(新型コロナウイルス感染症の影響により2回中止)、今年で50回目の開催となります。これまでに44カ国から442名の修了生を輩出し、開発途上国の能力向上に貢献しています。修了生の多くが、タイ、フィリピン、マレーシアなど各国水路当局で要職を務めるなど、世界各国の水路当局の幹部として活躍しており、各国との国際的な協力関係の強化にも大きな役割を果たしています(別紙参照)。

また、国際的な資格を取得できる唯一の JICA 研修であり、本研修を修了した研修員には、水路測量国際B級資格が付与されます。

2 日程

令和4年10月3日(月)～令和5年4月28日(金) (詳細は別紙参照)

(1) オンライン研修：令和4年10月3日～12月21日(14時～18時)

(2) 来日研修：令和5年1月12日～4月28日(4週間の測量実習を含む)

3 研修参加予定者(7カ国12名)

インドネシア3名、マレーシア2名、モザンビーク1名、フィリピン1名、ソロモン諸島2名、東ティモール1名、バヌアツ2名

4 主なカリキュラム

(1) 海図作製に必要な理論及び実務に関する講義(測地学、潮汐、水深測量等)

(2) 海図作製に必要なデータ収集のための港湾測量実習(大分県別府港)

(3) 海上保安庁測量船による洋上実習(駿河湾)

5 取材申し込み

各種実習を含め、研修期間中随時取材を受け付けております。別紙のスケジュールをご参照いただき、取材を希望される場合は、お問い合わせ下さい。

○主な研修スケジュール（予定）

実施予定日	実施予定場所	内容
令和4年10月5日（水）～7日（金）	海上保安庁海洋情報部	カントリーレポート発表会
令和5年1月25日（水）～26日（木）	駿河湾	測量船による洋上実習
令和5年3月2日（木）～31日（金）	大分県別府港	港湾測量実習
令和5年4月27日（木）	JICA 東京センター	閉講式

※上記以外の期間は、主に海図作製に必要な理論及び実務に関する講義を予定しています。

【参考】

○水路測量国際B級資格

各国の教育機関が実施する水路測量技術者養成コースに対し、水路測量等の国際基準を定める国際委員会 (IBSC) により認定される資格で、国際A級、国際B級の2つに分かれます。

国際B級は、水路測量を全般にわたり実施可能な実務レベルの技術者の養成を目標としています。

（水路測量国際B級のコースは世界で31カ国55コースがあります（令和4年8月時点））

○本研修に参加した主な各国水路当局要職経験者

研修参加年	名前	役職
1972年	First Admiral Mohd Rasip bin Hassan	元マレーシア水路部長
1981年	Vice Admiral Supote Klangvichit	元タイ水路部長
1983年	Vice Admiral Charin Boonmoh	元タイ水路部長
1985年	Commodore Romeo I. Ho	元フィリピン水路部長
1987年	Rear Admiral Fadzilah Bin Mohd Salleh	元マレーシア水路部長
1990年	Mr. Efren P. Carandang	元フィリピン地図資源情報庁次長
1991年	Rear Admiral Zaaim bin Hasan	元マレーシア水路部長
1992年	Rear Admiral Hanafiah bin Hassan	現マレーシア水路部長
1994年	Commodore Muhammad Arshad	元パキスタン水路部長
1998年	Mr. Justo Nicholas Lyamura	元タンザニア水路測量部長

○令和元年に実施した本研修の様子【コロナ前】



大分県別府港での港湾測量実習



測量船での洋上実習（測量船「海洋」）